

2 駅前整備の事例

・蒲田駅西口駅前のイメージ共有を図るため、同程度規模（デッキ整備なし）の駅前広場7ヶ所を対象とし、「クオリティの高いまち・蒲田」に求める“まちのイメージ”について事例整理を行う。

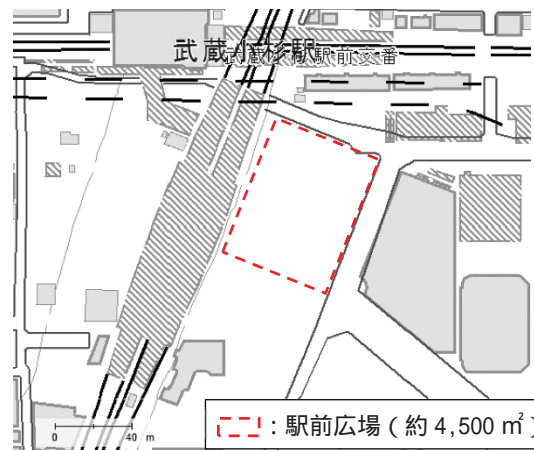
(1) 武蔵小杉駅（東口）

【まちのイメージ・特徴】

- ・駅前に複合ビルがありにぎわいや生活感がある
- ・デザインされたシェルター、統一されたサイン、手入れの行き届いた植栽など清潔感がある
- ・駅前のモニュメントを公募するなど、個性がある
- ・駅から雨に濡れずに地下自転車駐車場にアクセスできる

景観・環境 要素別分析

- ・みどり：交通島、広場周辺
- ・舗装色：暖色系、白色系
- ・シェルター：統一した特徴的なシェルター
- ・モニュメント：交通島に配置（公募型）
- ・その他：太陽光パネルの配置



駅前広場一体にデザインされたシェルター



手入れの行き届いた植栽(地下自転車駐車場出入口)



分かりやすい案内板(多言語対応)

乗り入れ路線と乗降客数 : JR 南武線、JR 横須賀線 216,092 人/日
 : 東急東横線 150,325 人/日
 : 東急目黒線 39,006 人/日

まちのイメージ評価指標	にぎわい	清潔感	個性	安心・やすらぎ

乗降客数は、各鉄道会社が公表している2012年度調べより引用。
 ただし、JR 東日本は乗車客数のみ公表されているため、2倍した数値を乗降客数として表記。
 地図は地理院地図(電子国土Web)より引用

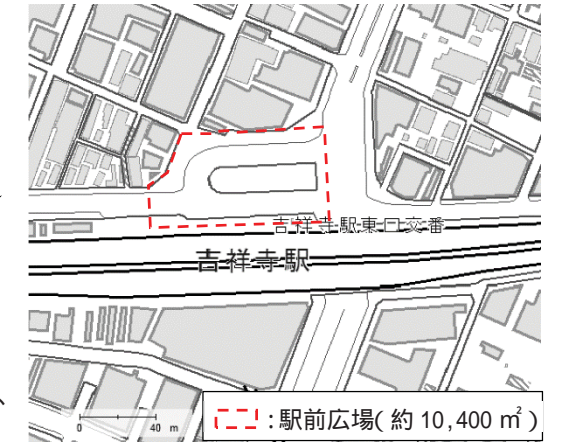
(2) 吉祥寺駅（北口）

【まちのイメージ・特徴】

- ・学生や若者が多く、にぎわっている
- ・複数の商店街が駅前にあり活気がある
- ・主に駅ビル整備が進み清潔感がある
- ・暮らしたいまちの上位に選出されている
- ・後背地に井の頭公園があるなど、落ち着いた街並み

景観・環境 要素別分析

- ・みどり：交通島に見通しのよいフラワーポットの配置、広場周辺の列植された樹木
- ・舗装色：グレー、クリーム色
- ・その他：植栽とベンチの配置による交通島のイベント広場、集いの空間形成



雨風をしのぐバス乗車場のシェルター



駅前広場沿いに列植されたうるおいある樹木



駅ビルの壁面緑化によるうるおい

乗り入れ路線と乗降客数
 : JR 中央線 276,966 人/日
 : 京王井の頭線 141,475 人/日

まちのイメージ評価指標	にぎわい	清潔感	個性	安心・やすらぎ
			○	

2 駅前整備の事例

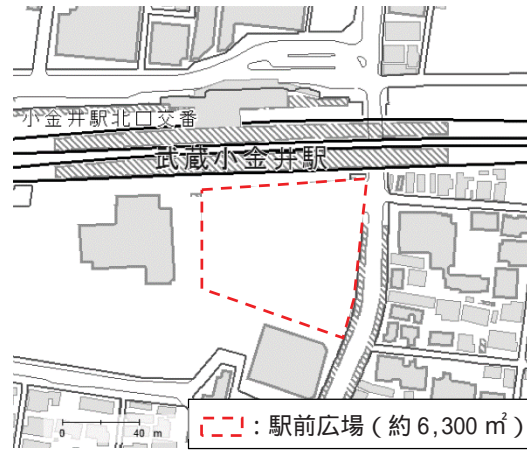
(3) 武蔵小金井駅（南口）

【まちのイメージ・特徴】

- ・市街地再開発事業で駅前を一体的に整備し、公共施設やマンション等によるにぎわいがある
- ・駅前から連続したシェルターや歩道のフラット化、ベンチの配置などのユニバーサルデザイン
- ・統一されたデザインで清潔感がある

景観・環境 要素別分析

- ・みどり：交通島の植栽帯、広場周辺の列植された樹木
- ・舗装色：暖色系
- ・シェルター：連続したシェルター



駅前広場の鳥瞰写真

引用) 小金井市HPより



連続したシェルター

乗り入れ路線と乗降客数 : JR 中央線 115,812 人/日

まちのイメージ評価指標	にぎわい	清潔感	個性	安心・やすらぎ

乗降客数は、各鉄道会社が公表している2012年度調べより引用。

ただし、JR 東日本は乗車客数のみ公表されているため、2倍した数値を乗降客数として表記。

地図は地理院地図（電子国土Web）より引用

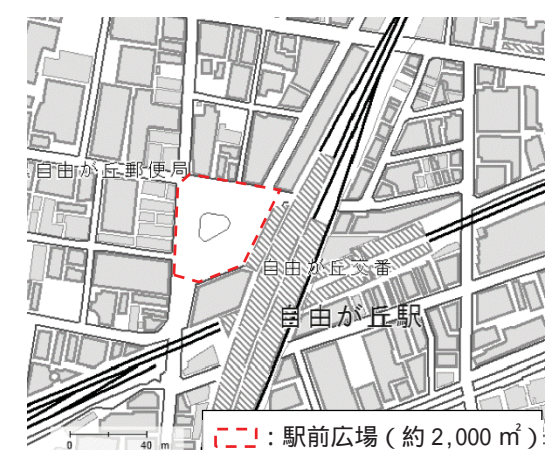
(4) 自由が丘駅（正面口）

【まちのイメージ・特徴】

- ・駅周辺の商店街など店舗のにぎわいがある
- ・暮らしたいまちの上位に選出されている
- ・駅前広場整備により安全安心な歩行者空間

景観・環境 要素別分析

- ・みどり：見通しのよい配置
- ・舗装色：グレー
- ・その他：交通島のモニュメント



従前の駅前広場

引用) 自由が丘経済新聞より



現在の駅前広場

駅前広場 鳥瞰写真（引用：目黒区HPより）



拡張整備された歩行者の広場空間

乗り入れ路線と乗降客数

- ：東急東横線 91,962 人/日
- ：東急大井町線 51,341 人/日

まちのイメージ評価指標	にぎわい	清潔感	個性	暮らしやすさ

2 駅前整備の事例

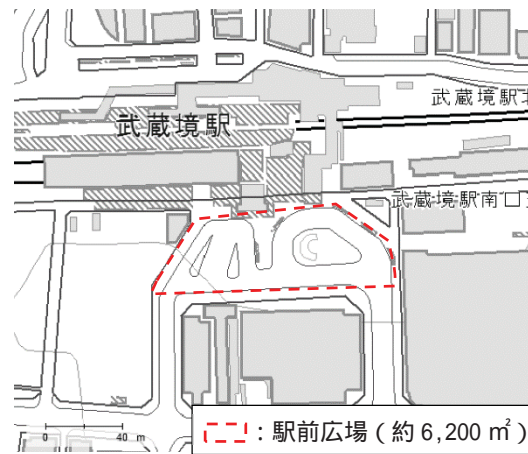
(5) 武蔵境駅（南口）

【まちのイメージ・特徴】

- ・見通しの良い緑陰空間
- ・近隣の広場やまちへと続く列植、四季を感じる樹木により、緑のつながりを感じられる
- ・大型の商業施設が駅前にあり、にぎわいがある
- ・バスとタクシーの乗車場が中央の歩道空間により分かれて

景観・環境 要素別分析

- ・みどり：見通しの良い緑陰空間
- ・舗装色：グレー系
- ・その他：ベンチを兼ねた植栽柵



駅前の来街者を迎える緑量のある植栽



見通しのよい足元空間がすっきりとした高木



近隣の広場やまちへと誘導する植栽

乗り入れ路線と乗降客数

：JR 中央線 125,412 人/日
：西武多摩川線 28,281 人/日

まちのイメージ評価指標	にぎわい	清潔感	個性	暮らしやすさ
	○		○	

乗降客数は、各鉄道会社が公表している 2012 年度調べより引用。

ただし、JR 東日本は乗車客数のみ公表されているため、2 倍した数値を乗降客数として表記。

地図は地理院地図（電子国土 Web）より引用

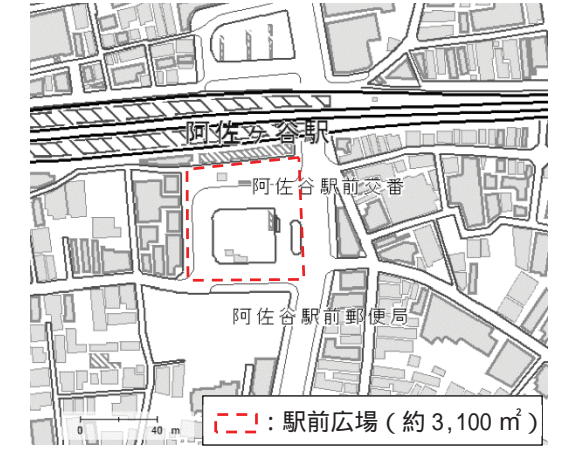
(6) 阿佐ヶ谷駅（南口）

【まちのイメージ・特徴】

- ・アーケードのある商店街ににぎわいがある
- ・駅前広場中央の曙杉シンボルツリーになっている
- ・中杉通りの列植により、南北方向に緑のネットワークが形成されている

景観・環境 要素別分析

- ・みどり：交通島にシンボルツリー（曙杉）が配置
中杉通り沿いの列植
- ・舗装色：暖色系
- ・その他：交通島のオープンスペース（噴水、公衆トイレ）



駅前のアーケードのある商店街



うるおいある複数のシンボルツリーとオープンス



オープンスペース内の噴水と公衆トイレ

乗り入れ路線と乗降客数

：JR 中央線 87,076 人/日

まちのイメージ評価指標	にぎわい	清潔感	個性	暮らしやすさ
				○

2 駅前整備の事例

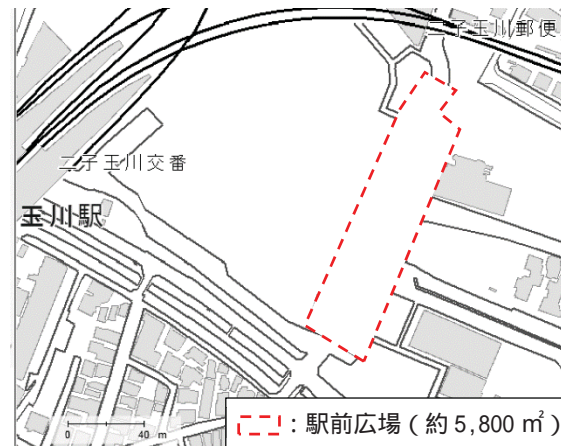
(7) 二子玉川駅（東口バスロータリー）

【まちのイメージ・特徴】

- ・駅前広場機能の分散により、バス、タクシー、一般車向けに利用されており、手入れや管理が行き届いて清潔感がある
- ・周辺は落ち着きや高級感のある街並み
- ・暮らしたいまちの上位に選出されている

景観・環境 要素別分析

- ・みどり：駅前広場出入口付近に島状の緑化
- ・舗装色：グレー、白色系
- ・その他：連続したシェルター、屋外広告物の少ない周辺建物



乗り入れ路線と乗降客数
 : 東急田園都市線 79,261 人/日
 : 東急大井町線 44,650 人/日

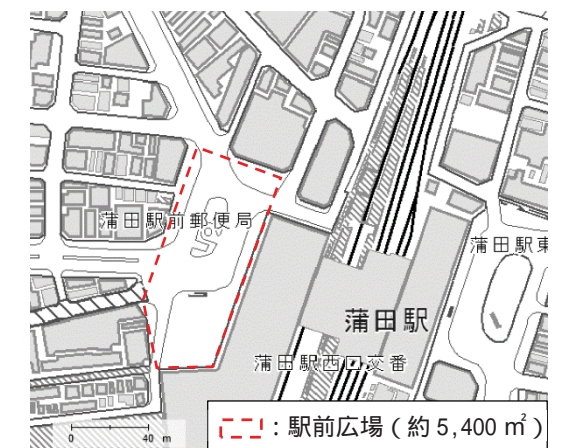
まちのイメージ 評価指標	にぎわい	清潔感	個性	安心・やすらぎ

乗降客数は、各鉄道会社が公表している2012年度調べより引用。
 ただし、JR 東日本は乗車客数のみ公表されているため、2倍した数値を乗降客数として表記。
 地図は地理院地図（電子国土Web）より引用

参考：蒲田駅（西口）

乗り入れ路線と乗降客数

- : JR 京浜東北線 271,336 人/日
- : 東急池上線 68,143 人/日
- : 東急多摩川線 85,300 人/日



3 景観アドバイザーの意見集約

(1) 第1回の概要

分類		主な内容
緑	駅前イメージ・全体	クオリティの高いまちという駅前のイメージについて、国内外においてクオリティの高いまちで、緑が少ない街はほとんどない。限りなく現状の緑は、キープしたほうがいい。新しい緑は、落ち着くまでは時間がかかる。高木はなるべく現状の樹木を残し、動線に支障があるもののみ移設したほうがいい。 例) 表参道も、御影を張って同じ舗装にしたとしても、あのケヤキがなくなってしまうたら、あの空間の雰囲気は全くなくなる。 木があったほうが、雰囲気はいいと思う。気持ちのよさそうな空間に、来街者は近づいていくと思う。 ヨーロッパは、周辺の建物を厳しく規制できているので問題はないのですが、日本ではそれは難しい。やはり木を残して、周りを隠したほうが、雰囲気はいい。 緑陰は大事だと思う。ベンチと木をセットで置いたらどうか。 周辺のごちゃごちゃした建物が木によって隠れていて良い。今後、徐々に周辺街区の建て替えも進んでいくとは思いますが、初動期としては木で隠すという考えもあると思う。 短期的、初動期で考えるのならば、現状の緑を活かしながら、計画したほうがいいと思う。
	配置について	動線の改善として、支障になっている低木は改善していただいて良いと思うが、高木は少なくすると、周辺の見せたくないところまで見えてしまうので、空間の質を保つためには、高木を配置したほうが良いと思います。 商店街の看板や店舗が見えなくて困るなど意見もあるが、にぎわいのためには、木を配置して街の雰囲気を良くすることのほうが、はるかに重要だと思う。
	広場南側のクスノキ	この木を切るとか、移設するにしても、なくす案は考えられない。動線にしても、足元を残せば、木は残せると思う。ただ、高植えされているので、根が上のほうまであると、周りを高く残す範囲が大きくなる可能性がある。移植は、木のためには難しいのではないかな。 イベントが開催されていない状況がどうなるのか考えたほうがいい。路上ライブやイベントをやるにしても、全く木のない状況は抛りどころがないというか、空間的にどうなのかなと思う。木がせっかくあるのなら、残したほうがいい。 何も無いスペースは逆に使いにくいのでは。 北側の交通島のクスノキも残すのならば、こちらを残したほうがいいのではないのでしょうか。低木は撤去しても問題はないと思いますが、あれだけの高木を切るとなると、反対意見もあるのではないかな。 (参考) 昭和60年頃にクスノキを北側の地元の名士の方の寄付であるクスノキと対にして植樹。
	事例・具体例	さいたま新都心は、6.5mのピッチでケヤキを植えている。かなり狭いピッチなので、円蓋ができる感じです。 駅前でオープンカフェとかやればいいのでは。緑も多いし、雰囲気がいいと思う。 新宿東口のモアビル前や横浜の日本大通りなど常設でオープンカフェが実施されている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>ケヤキの列植があるさいたま新都心</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オープンカフェを実施している 新宿駅東口のモアビル前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オープンカフェを実施している 横浜の日本大通り</p> </div> </div>
舗装の色彩	駅前全体について	汚れが目立ちにくい、メンテナンスがしやすい色にするならば、白っぽい色は反対です。ガムなどが付いた時に白っぽい色は非常に目立ちますし、床が白っぽくなると、周りの建物の色や、看板の派手な色合いが浮き上がって見える。全体がプレーンでナチュラルな色味の街並みに、床を白っぽくするのは、映えてきれいに見えますが、現状の建物がほとんど残る場合は、やめたほうが良いと思う。 暖色系の色味であれば、にぎわい感や暖かみもあり、現状の赤みの強い色味に比べるとくどい感じがしないので、ベージュ系の温かみのある色合いまたはグレー系(相当白っぽい色合い)で比べた場合は、ベージュ系が良いと思う。グレー系にする場合には、暗い色味を使ってはどうか。 御影石でも、グレーの黒に近いものを使わない限り、まぶしい。夏は、快適さからは程遠くなると思う。
	事例・具体例	色見本の7.5YR7/3の7/3もかなり明るいので、もう少し暗くしたほうが良い。同じ色をべったり張るのではなくて、濃淡のあるものを張ったほうが、まぶしさは軽減できる。暗めのブラウン系やグレー系を入れつつ、ミックスした張り方のほうが汚れが目立たないと思う。自然の風合いを生かした感じがいい。

景観アドバイザー
3名

【景観計画 都市計画分野】 佐谷 和江

【色彩分野】 滝沢 真美

【緑化分野】 加藤 修

(2) 第2回の概要

分類		主な内容
緑	駅前のイメージ・全体	<ul style="list-style-type: none"> 高木を中心に既存樹木を残す、もしくは移植を行う等、<u>現状の緑を活かす計画とされている点は評価できる。</u> 全体として歩行者空間を確保するために緑地の配置と本数が整理されている分、<u>一本一本が大きくしっかりした木を植えるよう留意する。</u> 計画イメージを実現させるには、樹種よりも、樹木の大きさに特に配慮し、葉張りが大きい樹木とする必要があると思う。 見えなくなる部分ではあるが、舗装下の植栽基盤は、<u>木が大きく育つように全ての木について充実させる。</u>一般に、樹木は葉張りと同じ程度の根張りを持っている。根による舗装の持ち上がり等のトラブル防止にもなると思う。 整備にあたっては、<u>20年後もそれぞれの樹木が健康に育つための準備をするよう心掛けると良い。</u> <u>低木の植栽はゴミを捨てられやすいため、地被類とするのが望ましいと思う。</u>
	配置について	<ul style="list-style-type: none"> 低木を整理し、歩行者動線が改善されている。 ガードパイプトレリスは、周辺環境などを考慮すると緑地として効果的ではないかもしれないが、低木の代わりとして配置する意味はある。
	広場南側のクスノキ	<ul style="list-style-type: none"> クスノキは駅前広場のシンボルツリーとして重要な存在である。 樹木によって商店街の看板や店舗が見えなくて困るなどの意見もあるが、<u>段差や花壇がなくなるため、樹木を残したとしても現状よりも広場からの見通しが良くなると思う。</u>
	喫煙所	<ul style="list-style-type: none"> 現在の案では、駅から出て正面に交通島内の喫煙所が見える。<u>交通島は、ボリュームのある樹木を配置すると最も効果的に見える場所であるため、喫煙所周辺に大きな木を植え、木の下に隠すようにしたほうが良い。</u>駅から降りたときに大きい木が目に入ると、樹木の多さが際立つ印象を与える効果があると思う。
舗装の色彩	<p>駅前全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> 舗装材のカラーパターン案について、<u>西口駅前広場のデザインキーワードである「暖かみ」「明るさ」「落ち着き・風格」「広場的」の要素を特に良く表現している3案を推薦する。</u> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>「暖かみ」「落ち着き・風格」 を重視した案</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「暖かみ」「明るさ」 を重視した案</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「暖かみ」「落ち着き・風格」 を重視した案</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <u>落ち着いた色味の案については、面積が広いので、暗い印象にはならないと思う。</u> <u>明るい色は面積が広がると眩しく感じられるので、ある程度明度を落とした舗装材とするのが望ましいと思う。</u> 舗装材の微かな色味の違いによるグラデーションの絵柄は、舗装材が欠けた場合のメンテナンスが大変である。 広場を強調する円状の模様を用いる場合は、広場南側のクスノキ廻りのみに配置し、中心性を持たせると良い。 	
喫煙所	色彩	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙所パネルの額縁は、景観になじみやすいよう、<u>ボラード等と同様の色味とする。</u>
	配置について	<ul style="list-style-type: none"> 駅から降りたときに最も目に入りやすい、交通島の正面に位置するため、<u>喫煙所の緑化や形状などに工夫ができると蒲田の特徴となると思う。</u>
	事例・具体例	<ul style="list-style-type: none"> 福岡市の警固公園では、喫煙所のガラスパネルの内側に、地域の歴史紹介等が表示してある。
照明	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> あまりモダンすぎるものは避け、<u>オーソドックスな照明機器とするのがいいと思う。</u> 光の色は、青白くない程度の、<u>色温度が低めの自然な昼光色とするのがいいと思う。</u>

4 西口駅前広場検討部会の意見集約

(1) 第1回 西口駅前広場検討部会での主な意見

分類	意見要旨	区の方
検討の進め方	①デザインコンセプトの議論になる素材を提案してほしい。 ②専門家に相談して提案してもらったほうが良い。	●第1回目ということでフランクにお話しいただくため、検討資料は用意しませんでした。たたき台が必要ということであれば、専門家にも相談して次回以降素材を提供させていただきます。
デザインコンセプト	①デザインコンセプトの話し合いがないまま、具体的なデザイン案を出されても意味がない。東口は羽田の玄関口として整備して、それに合わせた駅前のデザインがあるが、西口をどのように考えるのか。	●デザインコンセプトの考え方が混乱していますので、定義を「西口駅周辺のまちづくりの方向性に合わせた駅前広場の整備内容」とします。 ●推進会議でまとめた蒲田駅周辺まちづくりの考え方を踏まえ、西口についてのまちづくりの方向性や全体デザインイメージを整理したうえで、今回の整備で、どのようなデザインにするのか検討していきます。
西口のまちづくりの方向性	①駅東西のイメージをどのように繋げるのか、前提として出てこないのはおかしい ②新空港線の動向もあるが、駅前広場をもう少し広げ、鉄道事業者も一緒になって東西通路の検討を行うことが必要。階段やエレベーターを使わずに東西の行き来ができるようにすべき。 ③シンボル道路を見直すのか、連携したイメージでどうつなげるのか。 ④川越などは看板や建物など統一したまちとなっているが、蒲田のまちでできるのか。トータルでやっていくためにはみんなが意識しなくてはならない。 ⑤商店街へ動線をどうつくるのか。広場をどう使うのかも議論しないでデザインを考えるのは難しい。ベンチや床の個別のデザインではなくトータルデザインでなければ意味がない。どのような駅前にしていくかという議論が必要。	①東西連絡の考え方は、再編プロジェクトの「駅前空間の全体構想」で中央自由通路、南側の東西連絡通路などについて示しています。 ②ある程度の拡張は必要と考えますが、単純な用地の取得は、駅周辺を構成する店舗への影響がありますので、例えば、建替えに合わせたセットバックなど、関係する方々の協力による拡張を検討していきたいと考えています。 将来の駅ビル建替えに合わせた自由通路等の公共施設の確保については、引続き鉄道事業者と検討を進めていきます。 また、階段等を使わずに行き来できる東西通路ということは、地上部での接続となりますが、検討の範囲には入っていません。 ③シンボル道路として整備した補助37号線は、バス乗車場辺りの歩道幅員が狭いため、歩行者空間の安全確保が必要と考えます。 パブリックコメントでは、中央分離帯を撤去し、歩道を拡幅する案を提示しましたが、中央分離帯への愛着のあるご意見が寄せられ、区としましても、蒲田駅周辺シンボル道路は、景観計画で景観重要公共施設に指定しておりますので、地元の皆様のご意見を伺いながら、中長期で検討することとしました。したがって、初動期の整備では、シンボル道路の整備は考えておりません。 ④ご指摘のとおり、トータルデザインを決めても、行政が行う公共施設整備だけでは解決しません。周辺の建物、あるいは駅前広場を使う人のマナーなどが、西口のまちづくりの方向性に合致していくものと考えます。 ⑤商店街動線は歩車道の段差を極力解消し、一体的な整備を考えています。広場の使い方については、すでに開催しているイベント等を想定していますが、日常の運用については商店街を中心にアイデアを出し、区はどのような支援ができるか検討していきたいと考えています。どのような駅前にしていくかは、西口のまちづくりという括りで整理します。
西口駅前広場の現状課題	①交通島の六角形の植栽もフラット化が必要だ ②西口イメージとしては、たばこの吸い殻やベンチでのたむろなどマナーが非常に悪い。町会では美化活動に取り組んではいるが一向に減らない。行政任せもだめで、皆さん一緒にやることが必要。	①再編プロジェクトの整備目的のほかに、現状課題として交通島のフラット化も必要と考えますので、今回の整備に含めて検討します。 ②綺麗に整備するだけでなく、広場を使う人のマナー向上も必要です。 また、駅前広場を汚すことに躊躇するデザインはどのようなものなのかといった検討も考えられます。
西口駅前広場の使い方	①西口らしい歴史文化の交流・展示するイベントなどを広場でできたら活性化になるのでは。行政と我々で考えていけたらよい。 ②大人としてのまちなみを示して若人を受け入れる。広場については物産もあるが交流がテーマの一つ。クオリティがないとたむろして汚される。 ③広場は綺麗にして使うのが一番。学生も多いので若人の利用も含めて上手な使い方の企画や商店街と地域の人たちも交えた催しなど、蒲田のまちのPRを。	●広場の活用については、商店街など地域でアイデアを出していただき、区はそうした活動を支援していきたいと考えています。 ●広場などの基盤整備や周辺の建物の質を高めることもありますが、モラル、マナー意識を高めることも含めて、まち全体のクオリティにつながるものと考えます。
西口駅前広場の全体デザイン	①綺麗な広場であることが必要。にぎわいを持っていることが一番良いところ。まちは明るい基調が良いと思うが、専門家に出してもらったもので決めていかないと無理ではないか。 ②にぎわいとクオリティは両立する。それなりの格調と西口の歴史や良いところが感じられる設えに ③色を使わないとか明るくないほうが良いなど、専門家に相談して提案してもらったほうが良い。景観地域に指定されているのなら全体イメージをどうするか議論が必要。	●西口のまちづくりの方向性を整理した後、駅前広場全体の色調やイメージなどを検討していきたいと考えています。にぎわい、格調、クオリティ等の言葉に対するイメージは、人それぞれだと考えます。 区と皆様で共通認識を持ち、それをデザインに反映できるように、具体的に素材提供を行いながら、検討を続けてまいりたいと考えております。
整備範囲外の扱い	①駅北側の自転車置き場付近も全体的なものとして考えるべき。	①線路側の通りについては、今回の整備範囲ではありませんが、中・長期の検討に合わせて一体的に考えていきます。
整備促進	①できるところから、予算化して進めていけば、皆さんも積極的に係わってくると思う。是非進めてほしい。 ②まちの色彩は行政の力と我々の自発的行動がなければできない。建物の色彩範囲、看板の大きさなど一定の規制をしみんなですることでまちが良くなる。	①区としても同様に考えています。 ②ご指摘のとおり、公共施設のみを整備しても、目標には到達しません。周辺の建物の建替えルールを決めることやそれを守っていただくことが必要と考えます。

(2) 第2回 西口駅前広場検討部会での主な意見

区分	意見要旨	説明・区の考え方
資料への質問	<p>①6ページでは①②③を範囲としているが、13ページの範囲と違う。</p> <p>②8ページのVRの色彩がかなり違うようだ。</p>	<p>①6ページの整備範囲は、単純に蒲田駅周辺再編プロジェクトで示した初動期整備に合わせて設定したものです。13ページでは、蒲田駅西口のまちづくりを踏まえた西口駅前広場整備として、広場全体に範囲を広げて整備案を示しました。</p> <p>②歩行者動線の改善のイメージとして、再編プロジェクトのVRを採用したものです。色調の考え方、整備案については、12・13ページで整理しています。</p>
広場全体の整備	<p>【色調】</p> <p>①横断歩道の色や点字ブロックの配置が景観に影響するのでそこも含めて考えないと一体化は難しい。さかさ川のように色のない、無彩色がよい、暖色としているが再考したほうがよい。</p> <p>②材質と色は連動しているがどう考えるか。</p> <p>③色調は個人の好み、周辺建物などの景観上の問題があるので難しいが、検討を深めてほしい。</p> <p>【緑】</p> <p>④できるだけ緑が多い駅前広場にしてほしい。</p> <p>【照明】</p> <p>⑤歩道の色調を決めるより、周辺の照度を先に考えるべき。</p> <p>【防災】</p> <p>⑥防災の関係では防水槽がほしい。</p>	<p>【色調】</p> <p>①色調については、専門家から白系の色は、メンテナンスや汚れ、夏のまぶしさ、現状の建物が残るのであれば避けたほうがよい。暖色系であればにぎわい感や暖かみがあるといったアドバイスがありました。</p> <p>②サンプルや整備事例を示しながら、色彩基準や特例適用の可能性も含め、色調の検討を深めていきます。コストについても検討しておく必要があると考えます。</p> <p>③様々な条件等も考慮し、総合的に判断していきたいと考えます。</p> <p>【緑】</p> <p>④専門家のアドバイスや歩行者動線、イベントなども考慮して、要望に応えられるよう植栽配置の検討を深めたいと考えています。</p> <p>【照明】</p> <p>⑤街路灯についても、照度のほか、夜間の駅前広場の演出も含めてこの部会で検討します。</p> <p>【防災】</p> <p>⑥担当部局の意見も踏まえ、防災面も考慮した整備を検討したいと考えます。</p>
広場北側の整備	<p>①低木を撤去して歩行者の動線を改善してほしい。</p> <p>②段差解消は賛成だが、さかさ川整備では、2cm程度の段差とポールを設置することになった。6ページ②ではポールが入っているが、北側にも横断歩道・ポールが必要になるのではないか。</p>	<p>①再編プロジェクトで示した広場北側の歩行者動線は、整備の方向で具体的な検討を進めます。</p> <p>②歩車道の段差解消は、さかさ川整備と同様の段差になる見込みです。車両交通量も踏まえ、北側を一体的な歩道とし、車両動線部の切り下げが可能かどうか、交通管理者と協議したいと考えています。不可能であれば、ご指摘のとおり、横断歩道による対応と考えます。</p>
広場南側の整備	<p>①大きなクスノキは、鳩の糞やゴザを敷いて宴会をやる人など清潔感がない。緑は大切だが催しの際のことも含めて検討してほしい。</p> <p>②広場南側フラット化は賛成だが、中央のクスノキはシンボルとして残すべき。無機質なまちにならないよう、緑のある安らぐまちにしてほしい。</p> <p>③サンライズ前の低木がないほうが、横断歩道が渡りやすい。</p> <p>④鳩の糞や飲食をすることによって整備するというのは、理由としておかしい。</p>	<p>①専門家の意見も考慮し、広場の既存の高木は、基本的に活用することとしました。広場南側のクスノキについては、「残すように」との意見も寄せられ、皆さんの意見も伺いながらフラットにした際の対応を検討します。</p> <p>②植栽は、専門家からのアドバイスもあり、基本的に既存の高木を活かして検討したいと考えています。個々の樹木の扱いについては、皆さんの意見を踏まえて対応していきます。</p> <p>③サンライズ前の低木の植栽帯については、ご指摘のとおり歩行者の動線に影響することから撤去の方向で検討しています。</p> <p>④広場南側のフラット化は、現在、たむろしやすい空間（滞留機能のみ）となっている円形段差を解消し、憩い空間のほか、歩行者動線の改善や使いやすいイベントスペースの機能も持たせることを目的としています。</p>
交通島の整備	<p>①交通島は、誰もが円滑に横断できるようにしてほしい。動線は直線のほうがよい。綺麗で安心安全なまちづくりからにぎわいへと繋げていけばよいと思う。</p> <p>②花壇の縁に腰掛ける人を見かけるが、座ることの禁止ではなく、座れるものを作ったらどうか。</p> <p>③交通島部分への信号設置について以前話があったが、両サイドに信号があるので設置ができず、安全確保のためクランク状になったと聞いている。</p>	<p>①中央の六角形の植栽柵は撤去し、樹木については移植します。詳細は、これからの検討で決めていく予定です。</p> <p>②ベンチの置き込みについては、広場の使われ方を考慮し、皆さんの意見を伺いながら決めていきたいと考えます。</p> <p>③お話を踏まえて、交通島の歩行者動線を検討します。</p>
その他	<p>①もう少しスピードアップして整備を進めてほしい。</p> <p>②交通島が一番汚い。喫煙対策に工夫が必要である。</p> <p>③中・長期整備では、交番をよく見える位置に変えてほしい。</p>	<p>①設計・工事について、スピード感を持って実施していきます。</p> <p>②喫煙対策については、ハードの対応のほか、ソフト的な対応も検討していきます。</p> <p>③中・長期整備の検討では、交番の配置も含めて検討したいと考えます。</p>


(3) 第3回 西口駅前広場検討部会での主な意見


区分	意見要旨	デザイン基本計画素案作成に向けた整理
全体イメージ	<p>①デザインキーワードは、「広場的」、「暖かみ」、「明るさ」のある駅前広場をイメージしている。蒲田駅に降りた人が、明るいと感じる暖かみのある街にしたい。</p> <p>②駅前広場の面積によって色彩感覚が違うので、決めるのは非常に難しい。できれば専門家にデザインをお願いしたほうがよいと考えるが、個人的には武蔵小杉駅のようにちょっと違う色が入っているのもよいと思う。</p> <p>③事例や図・写真により比較してみることは大事だが、それぞれ良いところが違ったり、色調の印象も俯瞰図と地上目線では大きく違うので判断が難しい。</p> <p>④蒲田の植栽イメージというとクスノキだが、その他何か、目新しいイメージがないものかと思う。</p>	<p>●整備方針に基づく色調（舗装）、植栽、照明案を整理し、それぞれの組み合わせによる全体イメージを作成する。</p>
舗装材 (色調・材料)	<p>【材料】</p> <p>①バリアフリーペイブは車椅子の通行は問題ないが、溝が入っているため、足の悪い高齢者や杖などもひっきり歩きにくい。雨水が溜まらない、滑りにくいということであれば、研磨平板が一番良いのではないかと。</p> <p>②洗出し平板などはゴミが取れにくい、ガムが剥がれにくいと聞いたので、滑りにくい研磨平板がいいと思う。</p> <p>③材質は専門家ではないのでよくわからないが、高齢者に配慮して、滑らない、転倒しづらいということに注目して整備して欲しい。</p> <p>【色調】</p> <p>①舗装は明るいイメージの「案1の暖色系」がよいのではないかと。落ち着いた点では案2だが、全体的には暖色系とし、上手く併用できたらよいのではないかと。</p> <p>②案1の暖色系は暖かみを感じる。案2の無彩色系を採用する場合は、暖かみを加えてもらいたい。</p> <p>③無彩色系にして、他のもので色を添えたらどうかと思う。</p> <p>④無彩色系の方が落ち着いていいと思うが、皆さんの色々な意見をよく聞いた上で決めて頂きたい。</p>	<p>●材料を研磨平板に絞り、色調については意見が分かれたため、暖色系、無彩色系及び併用による組合せを数パターン作成する。</p>
植栽	<p>①大田区の木であるクスノキを中心とした方がよいと思う。ただ、剪定を行い、見通しを良くすることが必要だ。</p> <p>②南側スペースは宴会場となっているのでクスノキを取ってほしいと考えるが、クスノキを残すとしても大きすぎるので選定して木の大きさを調節して欲しい。交通島のクスノキのように大きくなりすぎると剪定が難しくなる。</p> <p>③クスノキの下のベンチについては、金属製の腰掛け程度のものでよい。</p> <p>④南側の大きいクスノキがうっそうとにならないよう、交通島のクスノキも含めて剪定をしてほしい。低木による緑も全体に重要。</p> <p>⑤広場南側をフラットにして全部なくせばいいというものではない。緑は大事にしなければと思うが、うっそうとしたら虫の問題、鳥の問題等が出てくるので、剪定など大いに気を配ってほしい。</p>	<p>●北側歩道部を除く高木の活用とアイストップ植樹等を加えた案を作成する。</p> <p>●南側クスノキ下のベンチは、腰掛け程度のものとし、他の緑陰箇所のベンチを数パターン作成する。</p> <p>・クスノキは剪定による適切な管理を行うとともに鳥や虫の問題にも対処すること。</p>
照明	<p>①照明の整備は大切であるので、十分に専門家の意見を聞いて、なるべく明るい駅前にしてほしい。</p> <p>②事例写真の丸の内仲通りの見本のように、下からライトを照らす明かりもよい。</p> <p>③クスノキの周りの足元照明を付けるのであれば、事故なく歩けるように明るくしてほしい。</p> <p>④商店街のライトアップも盛んに行われているところなどもある。蒲田のイメージは、暗い、汚い、危険という言われ方をされているので、夜でも明るい街並みにしてほしい。</p>	<p>●歩行者動線に合わせた街路灯の設置と樹木をライトアップする整備案を作成する。</p>
案内誘導サイン (喫煙所)	<p>①交通島全体のスペースで喫煙が見られる。交通島全体が喫煙所だと考えている人が大勢いると思う。景観から見ても交通島の喫煙所は反対である。</p> <p>②交通島が煙草の島じゃないかというくらいに一番汚い場所となっているので対応策が必要である。</p> <p>参考：現在、喫煙所を設置することで駅前広場のポイ捨てを抑制するものとなっている。設置箇所については、他の歩行者との交錯の影響が小さい交通島に設置している。</p>	<p>●西口駅前広場におけるサイン整備の方向性を整理する。</p> <p>●交通島内の喫煙スペース改修案を作成する。</p> <p>※大田区サイン基本計画等に基づく本整備計画について、別途検討を行う。</p>
その他	<p>①この整備で蒲田の駅も様変わりすると思うので、計画を早く進めてほしい。</p> <p>②10年くらい経ってやり直しというのではもったいないので、中・長期計画を踏まえて、今回の整備内容を検討してほしい。</p> <p>③個別の検討テーマを組み合わせたトータルなデザイン案を出してもらわないと答えようがない。植栽計画とか照明計画とかサイン計画も専門の方に頼んでそれを提案するべき。専門家を入れてデザインし、それに合わせて現場で皆さんと考えていくという事が必要。</p> <p>④個別のものを全体的なイメージにまとめて、その中で議論できたらとよいと思う。</p> <p>⑤防犯カメラを未設置箇所に設置してほしい。</p> <p>⑥イベント対応用の電源と水道を設置してほしい。</p> <p>⑦ハード面の整備をしてまちがきれいになってもマナーが問題であり、マナー向上につながるまちづくりが大事である。</p>	<p>●中・長期計画を踏まえた整備案とする。</p> <p>●今回は整備方針の確認だったので、素案では個別テーマ（舗装・植栽・照明・サイン）を組み合わせたイメージを示す。</p> <p>・防犯カメラの設置について検討する。</p> <p>・イベント用電源・水道の確保を要望する。</p> <p>・マナー向上の取り組みが必要である。</p>

(1) シェルター設置範囲の検討

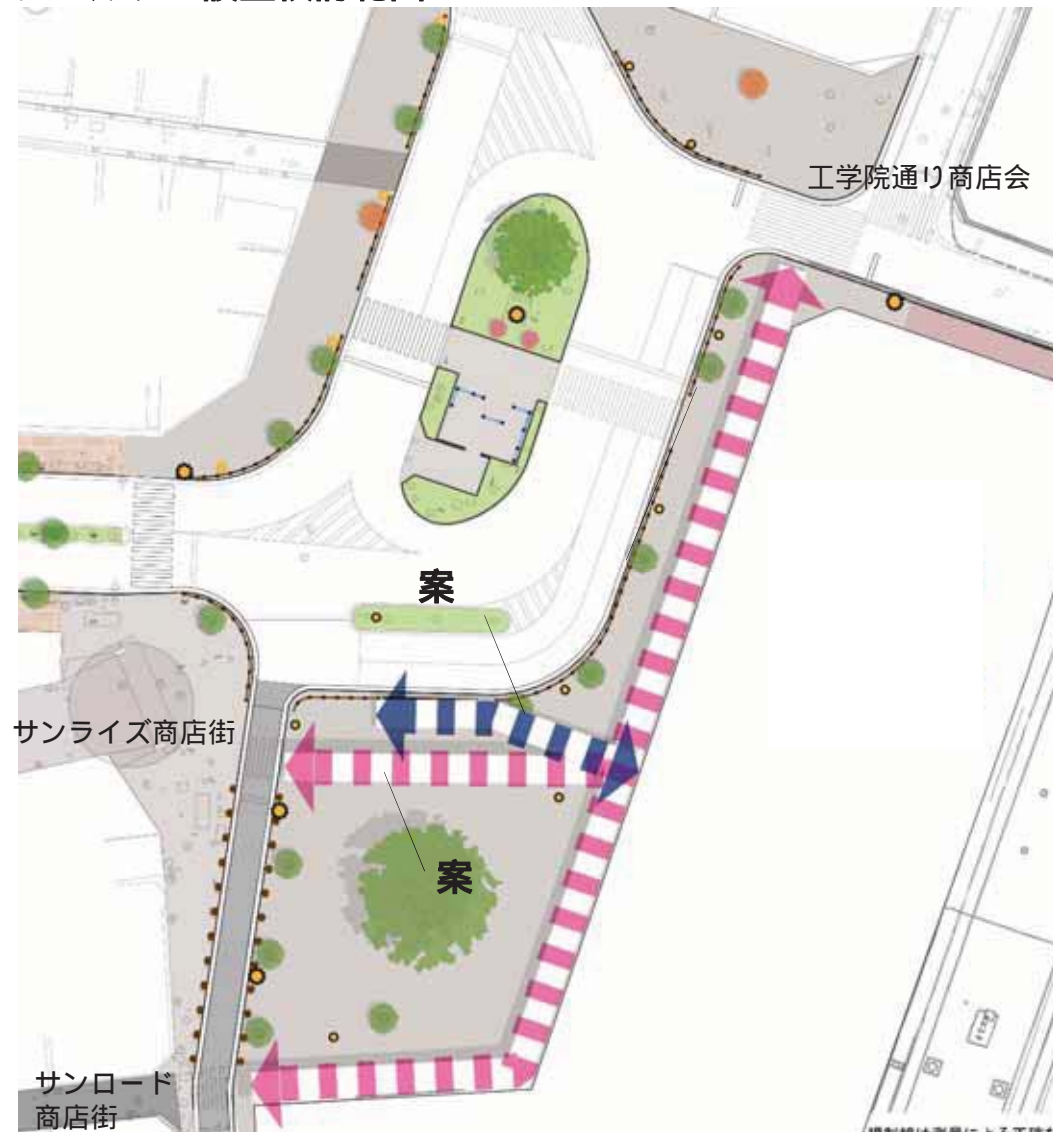
検討内容の前提整理（想定）

- ・悪天候時にも、安全で円滑に移動できる歩行環境を確保できるようシェルターの配置を検討する。
- ・近年、タクシー乗車場のシェルターを再整備したばかりであるため、整備時期に関しては中・長期整備を見据えて今後検討を行う。
- ・整備範囲については以下の2案を検討する。 実施にあたっては、関係機関との協議・調整により、実現範囲が変更となる場合があります。

案：駅から商店街（サンライズ商店街・サンロード商店街・工学院通り商店会）をつなぐ動線にシェルター設置を検討する場合 

案：駅からタクシー乗車場をつなぐ動線にシェルター設置を検討する場合 

シェルター設置検討範囲



シェルターの間口（幅員）は、2.5m～3.5mを想定。

シェルターの施工イメージ



主要構造材と屋根材ともに
アルミホーロー材



主要構造材：鉄骨、
屋根材：アルミ形材



主要構造材と屋根材ともに
アルミホーロー材（俯瞰）



吉祥寺駅北口
駅ビル側のシェルター